

磯つぎレポ

No.17

今回は、夏休みを利用して参加・見学した内容を5人の子ども記者全員がそれぞれレポートします。

いそっこ海の教室

8月8日

私はいそっこ海の教室に参加し、シュノーケリングを体験しました。

みんなで大磯ロングビーチのプールでシュノーケルの使い方を練習した後、照ヶ崎海岸をめぐりました。



▲ライフセーバーに付き添ってもらい、シュノーケリングを体験

とってもドキドキしていたけど、泳ぐスピードが速くて、嬉しくて、はじめてだったのにな上手に泳げたと思います。

小魚やふぐも見れて、すごい楽しかった。また、いそっこ海

の教室をぜひやってほしいです。
(蒲原なな子)

環境美化センター見学

8月18日

僕は学校の社会の授業で見学した環境美化センターをまた見学したくて、役場の人に案内してもらいました。



▲ペットボトルもつぶしてしぼると重たい!

町全体から集められて来たゴミはピットに入れられます。ピットにはゴミをかくはんする大きなクレーンがあり、動く様子はとても迫力がありました。

クレーンを操縦する操作室には、テレビやボタンがたくさんあり、操縦する人、煙突の映像を監視する人などがいました。

今回見学して、もっとゴミについて調べたくなり、僕はその後図書館で、燃えるゴミと燃えないゴミの処理の仕方は? “なぜ黒い煙はいけないのか?”などを調べました。有害な物質やダイオキシンの出さないようにゴミを処理することはとても難しいと思いました。
(齋藤啓太)

障害福祉センター見学

8月18日

町内にある色々な施設を訪ねてみて、改めて大磯町には色々な施設があるんだなと思いました。



▲織物に挑戦!!

中でも、一番興味を持ったのは障害福祉センターでした。ここでは色々なお祭りやボランティア活動が行われていて、私も何度かお祭りの手伝いをしたことがあります。(今年の横溝記念まつりは10ページ参照)

色々な人達と話したり、協力しながら楽しく作業をした経験

はとても貴重でした。施設には織物やパンなどを作ったり、1階の喫茶店で働く人などがいて、皆さんにもぜひお祭りがある時など、行ってみたいですね。

(森山美幸)

潜望鏡を作ろう

8月23日

僕は国府中学校で行われた子ども科学実験講座「潜望鏡を作ろう」に参加しました。

はじめに鏡とレーザーポインターの説明を受けて、その後、紙を3枚切って、鏡をボンドでくっつけて潜望鏡をつくりました。



潜望鏡をのぞくのははじめてで、遠くの景色が一気に近く見えてビックリしたけど、面白かったです。また、作って見たいと思いました。

(山口健太)

を見に行ってきました。戦争のときの新聞や写真、へいたいさん達の服や教科書が展示されていました。また、しょういだんという爆弾が落とされた所の地図がありました。



▲収蔵資料展のようす

以前親戚のおばあちゃんから、山王町の松並木に近いトンネルから高麗にかけて、爆弾が落とされ、多くの人が亡くなったと聞いたことがあります。

今回レポートして見て、やっぱり戦争は嫌だと思いました。これからの戦争のことをもう少し調べたいと思います。

(齋藤亜里沙)

このコーナーを一緒に手伝ってくれる子ども記者を募集しています。

収蔵資料展

「戦時下のくらし」

私は終戦60年を迎え、郷土資料館で行われていた収蔵資料展

問い合わせ

企画室 ☎内線207